

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンとエボニック グループ 東北の被災地にて、子ども化学実験ショーを実施

2012年1月17日

1月20日(金) 名取市下増田公民館、21日(土) 東松島サルビア2放課後児童クラブ

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(以下、「SCJ」とエボニック グループ(以下、エボニック)は、この度東北の被災地支援の一環として名取市および東松島市の児童クラブの子どもたちを対象に、子ども化学実験ショー「粉マジックで迷路を作ろう!」を実施します。

佐藤 則子
公益社団法人
セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
コミュニケーションズ部
T 03-6859-0011
F 03-6859-0069
sato@savechildren.or.jp

SCJとエボニックは昨年7月に東日本大震災の復興支援に関して包括的な取り組みを協同でおこなうことに合意し、7月にSCJによる学童保育指導員サポート活動の一環として、宮城県石巻市の12ヶ所の学童保育所で約400人の子どもたちを対象に化学実験ショーを実施しました。今回も同様の形で、名取市および東松島市の子どもたちに化学の楽しさを知ってもらう目的でおこないます。

内藤 吾朗
日本におけるエボニック グループ
グループ コミュニケーションズ
T 03-5323-7391
F 03-5323-7399
goro.naito@evonik.com

またエボニックでは東日本大震災後すぐに世界中のグループ各社において義援金が集められ、ドイツでは、昨年5月にメインスポンサーであるブンデスリーガのボルシア・ドルトムントと欧州日本人選手選抜チームとのチャリティーマッチを主催しました。

今後も SCJ とエボニックは包括的な取り組みを通じて、お互いに協力しながら、被災地の子どもたちの支援を継続的にこなっていきます。

以上

セーブ・ザ・チルドレンについて

セーブ・ザ・チルドレンは、国連公認の子ども支援の国際 NGO。世界最大のネットワークを活かして、世界の子どもたちとその家族、地域全体を改善するため、緊急援助を含め、地域に根ざした支援活動を焼く120ヶ国で展開しています。1919年の設立以来、90年以上にわたる活動は、世界の NGO の代表格として各国政府からもその重要性を認められています。日本では外務省から、公益社団法人および、特定公益増進法人として認可を受けています。

公益社団法人
セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
〒101-0047
東京都千代田区内神田 2-8-4
山田ビル 4 階

www.savechildren.or.jp

エボニック インダストリーズについて

エボニック インダストリーズはドイツのクリエイティブな産業グループです。私たちのコアビジネスであるスペシャルティケミカルでは世界的リーダーとなっています。また発電事業や不動産部門も保有しています。私たちの業績は創造性・専門性・自己革新力・信頼性によって作り上げられています。

エボニック デグサ ジャパン
株式会社
〒163-0938
東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モリス 12F

www.evonik.jp

エボニック インダストリーズは世界100ヶ国以上で活動しており、2010年度は34,000人の社員を有し、総売上高は133億ユーロ、EBITDA(金利・税金・償却前利益)は24億ユーロを計上しました。

<参考資料>

実施概要:

1月20日(金曜日) 16:00~

名取市下増田公民館

小学校1~6年生の20名前後

1月21日(土曜日) 10:00~/ 13:30 ~ 計2回

東松島市サルビア2放課後児童クラブ

小学校1~3年生 計60名前後

実験内容:

「粉マジックを体験しよう!」

シリカという白い不思議な粉を使って実験を行います。シリカは自然界に広く存在し安全性が高いのでガラス、歯みがき、化粧品、食品、タイヤなど身の回りのいろいろなものに使われています。このシリカの別名は二酸化ケイ素。地球の表面上の物質の約55%を占めています。砂浜の砂から化学反応によって不純物を取り除いても、まっ白な粉、純度の高いシリカを作ることができます。

「粉マジックを体験しよう!」ではシリカの特性を生かした4つの実験を行います。

まず第1の実験は、シリカの持つ「流動性(りゅうどうせい)改善」の力を使って湿った塩をさらさらによみがえらせます。

第2の実験は、シリカの持つ「研磨性(けんませい)」を使って歯みがき実験をします。油性ペンでアルミ板に絵を描きます。これを歯の汚れとみたとて、シリカをつけた歯ブラシでみがくと、あっという間に絵が消えます。

第3の実験では、水とシリカをミキサーで混ぜます。すると水がどこかへ消えてしまいます。そしてそのシリカを指に付けて水そうの水のなかに入れると、不思議なことに指がぬれません。

第4の実験では「迷路ゲーム」を作ります。シャーレに迷路を描いた後、シリカを塗布し、そこへスポイトで水滴をたらすと、水滴はコロコロとボールのように転がり迷路を進みます。

シリカは、みなさんの生活に役立つ便利な力をたくさん持っています。ぜひ不思議な粉マジックの世界を体験してください。

日本におけるエボニック グループの実験ショーについて：

日本におけるエボニック グループでは、2007 年より「化学の面白さ」や「私たちのすぐそばで貢献している化学」を子どもたちに伝えるべく、化学実験ショーを行っており、毎年夏には「夢・化学-21」が主催する「夏休みこども化学実験ショー」に参加しています。またグループの事業所や工場近隣の小学校、高校、子ども会などへも社員ボランティアが出向き、グループ会社の地域貢献活動の一環として実験ショーを開催しています。

現在まで社員ボランティアが出向いて実施した実験ショーは 65 回、参加した子どもたちは 1,600 人以上になります。

エボニックは、この実験を通して子どもたちが「体験」「発見」「感動」することで学習に対する意欲を高め、化学の力が生活の身近なところで活躍していることを理解し、今後とも化学に興味を持つとともに、日々の生活で自ら観察したり、疑問を持ったりするきっかけを提供していきたいと思えます。



(イメージ写真：昨年7月の石巻での実験ショー)